


# 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博） 進捗状況

2020年1月

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

## 1 当面のスケジュール

2018年	2019年				2020年			
11/23 開催国決定	1月末 2025年日本国際博覧会協会設立	10月 公益社団法人移行	11月 ロゴマーク公募開始	12月 BIEへの登録申請に係る閣議決定 <b>登録申請書BIEへ提出</b> ※各国へ示す実行計画	4月 BIE執行委員会（登録申請書の実質審査） <b>ロゴマークの決定</b>	6月 <b>BIE総会（登録申請書の承認）（目標）</b> <b>プロデューサーの選定</b>	秋頃 <b>基本計画策定・公表</b> ※万博開催に必要な事業の方針や考え方をまとめたもの	10月～4月 ※ジャパンデー12月12日（土） <b>ドバイ博（登録博）</b>  EXPO 2020   كُنسبو 2020   2025年日本国際博覧会 OSAKA-KANSAI-JAPAN
								各国への参加招請活動

## 2 登録申請書 (Registration Dossier) 概要

2019年12月27日 B I E へ提出

- ・開催5年前（2020年）までにBIE（博覧会国際事務局）に提出することが求められる、開催国がその計画について記した文書。
- ・BIE総会における登録申請書の承認をもって、**外交ルートを通じた正式な参加招請が可能となる。**

### 大阪・関西万博の概要

テーマ	<b>いのち輝く未来社会のデザイン</b>
サブテーマ	<b>Saving Lives (いのちを救う) Empowering Lives (いのちに力を与える) Connecting Lives (いのちをつなぐ)</b>
コンセプト	<b>People's Living Lab (未来社会の実験場)</b>
会場	夢洲 (大阪市此花区)
開催期間	2025年4月13日 (日) – 10月13日 (月) ※当初想定の2025年5月3日 (土) ~ 11月3日 (月) から前倒し
想定入場者数	<b>約2,800万人</b>

2

### 夢洲地区全体図



3

# 夢洲へのアクセスについて

- ・関西・夢洲までの交通アクセスは、陸路（鉄道・自動車）等。
- ・会場周辺の渋滞を緩和するため、シャトルバスを活用したパーク・アンド・ライドシステムを導入。

## 計画来場者数

来場者合計  
2,820万人

平均15.3万人/日



ピーク日来場者数  
28.5万人/日



## アクセス手段別 交通量

- 鉄道  
利用率40%  
(11.4万人/日)
- 駅シャトルバス  
利用率20%  
(5.7万人/日)
- マイカー、貸切バス等  
利用率40%  
(11.4万人/日)

# 3 テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」

一人ひとりが自らの望む生き方を考え、それぞれの可能性を最大限に発揮できるようにするとともに、こうした生き方を支える持続可能な社会を、世界が共創（Co-Creation）していくことを推進。

## いのち、生きる、生き抜く



写真:ジョイセフHPより



「いのち」の誕生から38億年

## 3-2 サブテーマ「3つの“Lives”」

### Saving Lives いのちを救う



一人ひとりの「いのち」を守る、救うことに焦点

(例) 公衆衛生の改善による感染症対策、防災・減災の取組による安全の確保、自然との共生による環境の保護等

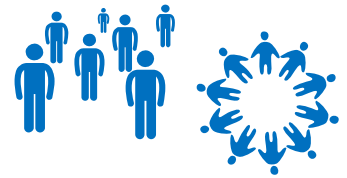
### Empowering Lives いのちに力を与える



一人ひとりの「生活」を豊かにする、可能性を広げることに焦点

(例) ICTを活用した質の高い遠隔教育の提供、スポーツや食を通じた健康寿命の延伸、AIやロボット技術の活用による人間の可能性の拡張等

### Conecting Lives いのちをつなぐ



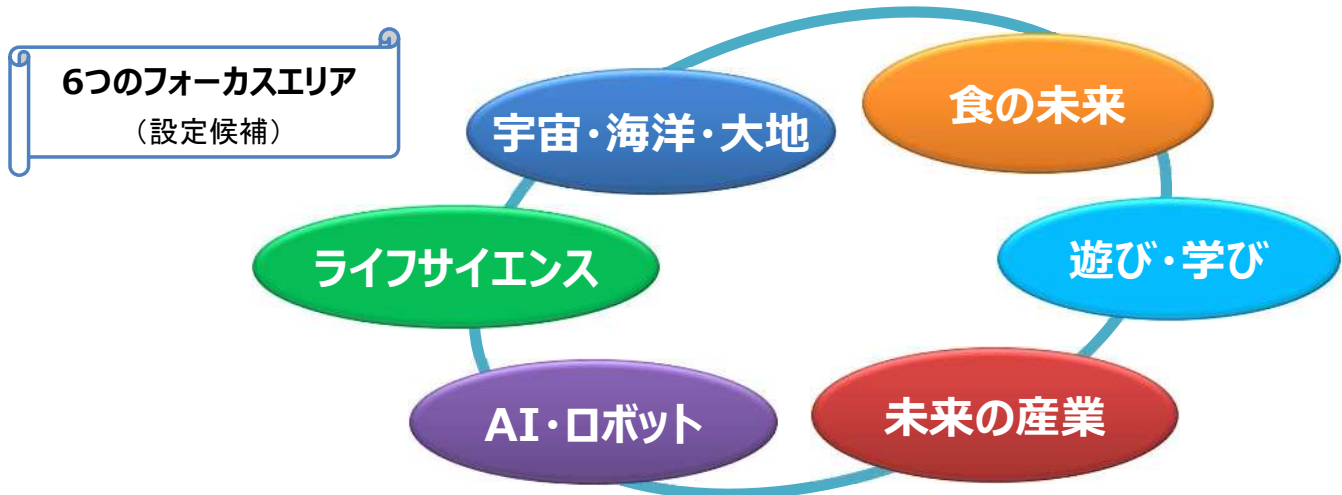
一人ひとりがつながり、コミュニティを形成して  
社会を豊かにすることに焦点

(例) パートナーシップ・共創の力、通信技術によるコミュニケーションの進化、データ社会のあり方等

6

## 3-3 テーマを具体化する「フォーカスエリア」の設定

テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」とサブテーマ「3つのLives」への理解を深めるとともに、テーマから具体的に想定される展示分野を『フォーカスエリア』として設定



フォーカスエリアは、協会が設置する「テーマ館」等でも展開予定

7



# 3 - 4 People's Living Lab (PLL)促進会議の概要

## 設置目的

多様な企業の参画と共創をはかり、開催前より万博会場内外での実証実験を通じて、イノベーション・技術革新を促進 (会議は、有識者とオブザーバーとして参加していただく企業で構成)

## 有識者

〈座長〉 金出 武雄 (カーネギーメロン大学)  
 石川 善樹 (株式会社ハビテック)  
 齋藤 精一 (株式会社ライゾマティクス)  
 竹林 一 (京都大学/オムロン株式会社)  
 豊田 啓介 (noiz/建築家)  
 牧村 真史 (株式会社集客創造研究所)



第1回PLL促進会議の様子 (2019年11月21日)

## 議論テーマ

テーマ	主な内容 (例)
①会場設計	都市OS、デジタルツイン、会場建設 (BIM/CIM)・運営シミュレーション、防災・減災・予防、天候対策 (暑さ・大雨対策) 等
②環境・エネルギー	エネルギーマネジメント、再生可能エネルギー、廃棄物、リサイクル 等
③移動・モビリティ	会場内外移動の最適化 (MaaS)、パーソナルモビリティ、水素バス・水素船 等
④情報通信・データ	5G等次世代通信 (大容量通信)、移動・体験データ流通・活用、医療・健康、サイバーセキュリティ、ユニバーサルデザイン 等
⑤会場内エンターテインメント	VR/AR、映像、AI/ロボット、エンターテインメント、演出 等

8

## 2025年万博会場等で実証・実装したい「未来社会」のアイデアを幅広く募集中



## 募集期間

2019年12月2日～2020年1月31日

## 募集方法

協会HPにて応募フォームを公開

## 今後のPLL促進会議スケジュール

- 第3回：2020年1月28日 (火) 10:00～12:30
  - 第4回：2月28日 (金) 10:00～12:30
  - 第5回：3月23日 (月) 10:00～12:30
- 場所：大阪商工会議所 7階 国際会議ホール

## 【講演予定】

- 内閣府
- 関西経済連合会
- 大阪商工会議所
- 関西経済同友会
- けいはんな
- クモノスコーポレーション(株)
- (株)SkyDrive
- (株)ティアフォー
- (株)エクサウィザーズ

9

# 4 プロデューサー

## <1970年大阪万博>

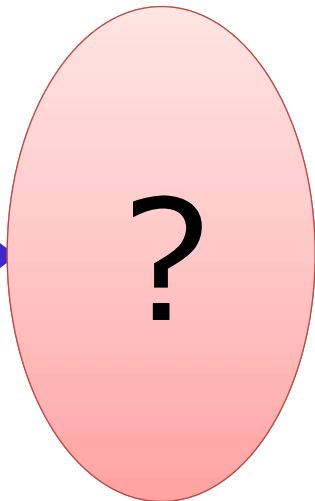
← 基幹施設プロデューサー 丹下 健三氏



テーマ展示プロデューサー  
↓ 岡本 太郎氏



2025年  
大阪・関西万博  
プロデューサー



2020年秋頃を目標とする基本計画の策定を  
プロデューサーが主導するなど関与

## <1990年国際花と緑の博覧会>

総合プロデューサー

- 小松 左京氏 →
- 泉 真也氏
- 磯崎 新氏



## <2005年年愛知万博>

総合プロデューサー

- 泉 真也氏
- 菊竹 清訓氏
- 木村 尚三郎氏

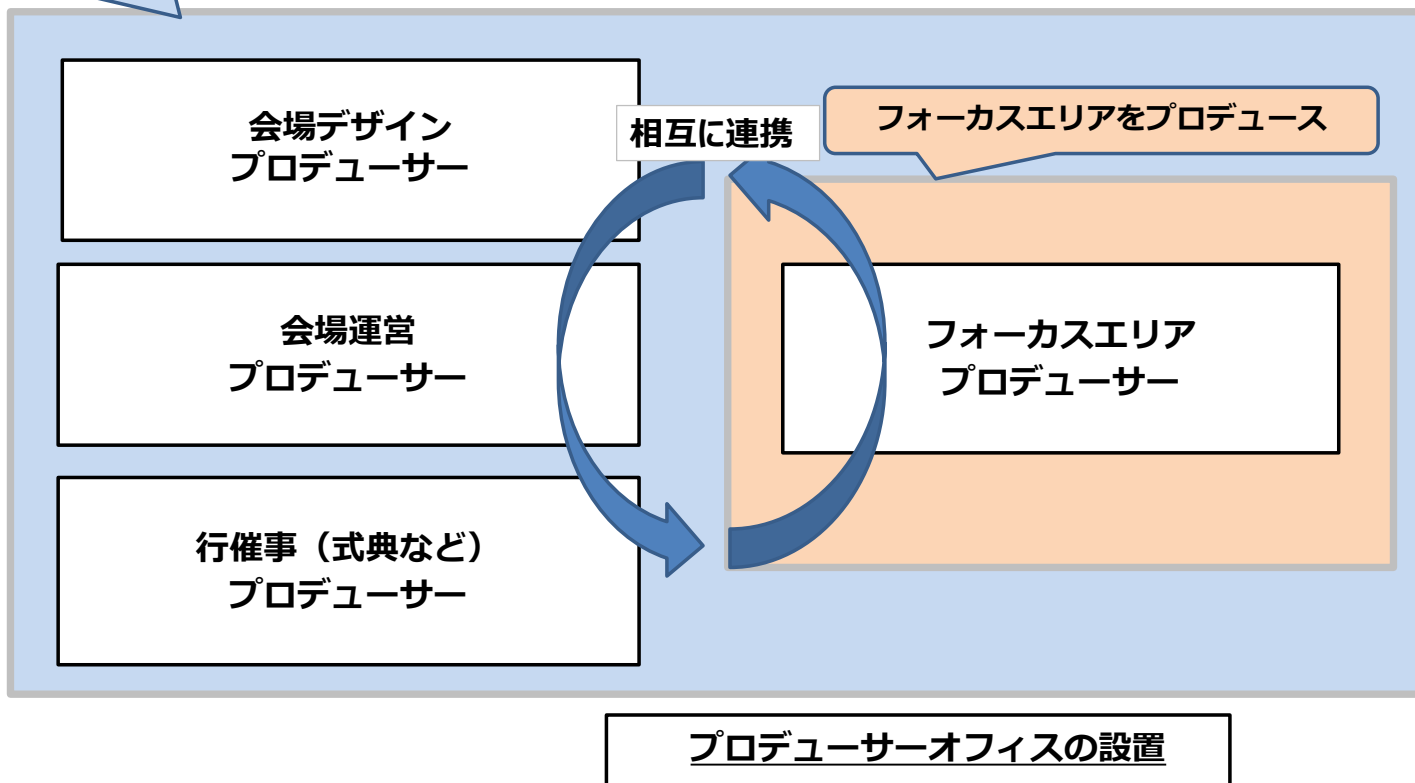


愛知万博の空中回廊

10

## プロデューサーチーム体制 (案)

会場全体をプロデュース



11

## 5 シニアアドバイザー

協会における重要課題や専門的事項について、専門知識や技術、経験等を有する方から助言を受けるため、シニアアドバイザーを設置。

### シニアアドバイザー（五十音順・敬称略）

安藤 忠雄	（建築家）
池坊 専好	（華道家元池坊 次期家元）
大崎 洋	（吉本興業ホールディングス株式会社代表取締役会長）
桂 文枝	（落語家）
ロバート キャンベル	（国文学研究資料館長）
コシノ ジュンコ	（デザイナー）
五神 真	（東京大学総長）
ウスビ・サコ	（京都精華大学学長）
千 宗室	（茶道裏千家 家元）
西尾 章治郎	（大阪大学総長）
宮田 亮平	（文化庁長官）
山極 壽一	（京都大学総長）
吉田 憲司	（国立民族学博物館長）

（2019年12月現在）

12

## 6 ロゴマーク

応募総数：5,894作品

■応募受付期間  
2019年11月29日～12月15日

<ロゴマーク審査先行の流れ>

形式要件確認

デザイン審査

ロゴマーク選考委員会（第1回）

知的財産関連調査

一般意見募集

ロゴマーク選考委員会（最終）

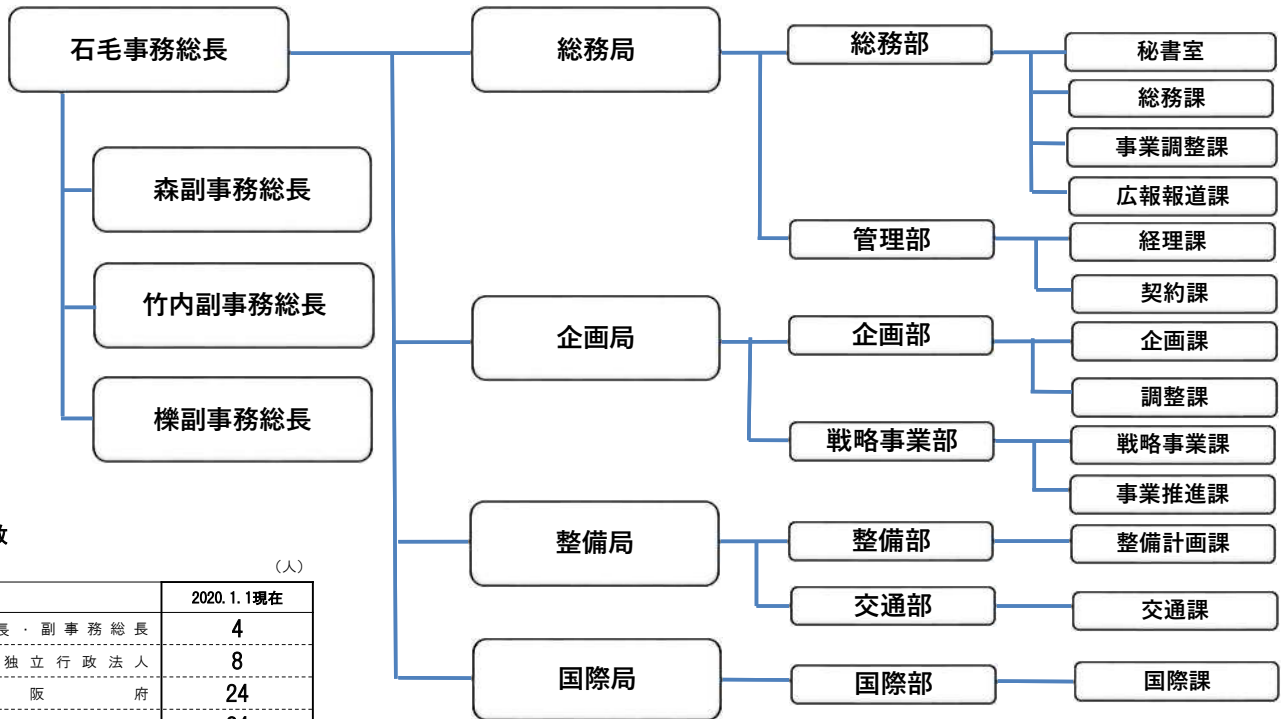
今年春頃 決定

### ロゴマーク選考委員会 選考委員

・多様な分野の代表者から構成  
（デザイン・アート、SDGs、国民代表など）

座長	
安藤 忠雄	建築家
選考委員（五十音順）	
荒木 飛呂彦	漫画家
河瀬 直美	映画監督
澤 穂希	元サッカー日本女子代表
根本 かおる	国際連合広報センター 所長
林 いづみ	弁護士（桜坂法律事務所）
原 研哉	グラフィックデザイナー
藤木 俊光	経済産業省 大臣官房 商務・サービス審議官
二宮 雅也	日本経済団体連合会 企業行動・SDGs委員長 ／損害保険ジャパン日本興亜株式会社 会長
松井 冬子	日本画家
ヨシダナギ	フォトグラファー

13



協会職員数

	2020.1.1現在 (人)
事務総長・副事務総長	4
省庁・独立行政法人	8
大阪府	24
大阪市	24
関西広域連合府県市	10
民間	44
計	114

## 2020年の課題

入場者数2,800万人を実現する  
万博とするために、  
基本計画をしっかりとつくる。

① 「魅力」あふれる、「おもしろい」万博に

② 会場のキャパシティと会場へのアクセスインフラが  
「確実」で、「安心」できる万博に



## 会場の立地特性を活かして



「瀬戸内海」とつながる、  
「関西」とつながる、  
「アジア」とつながる万博会場へ



16

## 万博は、またとない関西復権のチャンス



関西府県・政令市の魅力を結集して、大阪・関西万博の成功を



府县市等	提案・要望時期	提案・要望先	提案・要望内容
関西広域連合	令和元年11月 (令和2年度国の 予算編成等に対す る提案)	<p>経済産業省 国土交通省</p> <p>内閣府 国土交通省</p>	<p><b>【大阪・関西万博開催の効果を関西全体に波及させるための取組の支援等】</b></p> <p>国家プロジェクトである「2025年大阪・関西万博」を成功させ、関西全体の活性化につながるものにするには、国がリーダーシップを発揮し、博覧会協会、地元自治体、経済界が緊密に連携して、着実に準備を進めていく必要がある。                  ついては、万博開催に必要な計画策定、会場整備、参加国招請、インフラ整備などに必要な行財政措置、規制緩和措置等、国の総力を挙げ、全面的に支援すること。                  また、関西全域での万博会場と連携した取組（例：サテライト的な展示、関連イベントの実施）への支援や、交通アクセス確保に向けた陸上交通網の整備や高速艇等の海上交通の充実、関西圏域に存在する空港の活用等について検討すること。                  併せて、万博会場周辺から関西圏の隅々まで円滑な移動が可能となるよう、高速道路整備への投資を拡大し、万博開催までに広域的な高速道路ネットワークを形成すること。</p> <p><b>【国土の双眼構造を実現する社会基盤整備】</b></p> <p>国土の双眼型、多極型構造の構築により、関西が日本の成長を牽引するため、また、首都機能をバックアップする担い手として、海外交易や国内広域連携の窓口となる空港、港湾など社会基盤の果たす役割は大きく、空港や国際コンテナ戦略港湾など関西が有するポテンシャルを最大限発揮することが必要である。                  このため、空港・港湾とそれらを連絡する高速道路や主要都市間等を連絡する高規格幹線道路等のミッシングリンクの解消と、それによる太平洋側及び日本海側の国土軸の形成や充実、2025年に開催される大阪・関西万博の効果を最大限波及させるための会場周辺から関西各地へのアクセスの効率化、利用しやすい高速道路料金の実現、さらに、高速鉄道網の整備促進によるリダンダンシーの確保、および社会資本の老朽化対策等が不可欠であることから、以下の措置を講じること。</p> <p>③道路整備の推進                  道路整備の推進のため、必要となる予算の総額を確保するとともに以下の事業を推進すること。</p> <p>イ 大阪・関西万博を見据えた高速道路の整備                  ・「2025年大阪・関西万博」の効果を最大限波及させるため、会場周辺から関西各地への円滑な移動が可能となるよう、高速道路整備への投資を拡大し、万博開催までに広域的な高速道路ネットワークを形成すること。</p>
大阪府	令和元年6月 (令和2年度国の 施策並びに予算に 関する最重点提 案・要望)	経済産業省	<p><b>【大阪・関西万博の成功に向けて】</b></p> <p>○国家プロジェクトである大阪・関西万博を成功させるため、世界の叡智や、人々に夢と驚きを与える最先端技術を結集するとともに、万博開催に向けた計画策定、会場やインフラ整備等にかかる財政支援を行うなど、国の総力を挙げ取り組むこと。                  ○あわせて、万博の開催効果を大阪・関西の経済活動、とりわけ中小企業にも十分波及させ、東京オリンピック・パラリンピック後のわが国の持続的な成長、発展につなげること。</p>
兵庫県	令和元年11月 (令和2年度国の 予算編成等に対す る提案)	経済産業省 国土交通省 観光庁	<p><b>【2025年大阪・関西万博開催の効果を周辺地域に波及させる取組の推進】</b></p> <p>①万博会場と連携した取組への支援の検討                  ・期間中、関西全域で実施する万博会場と連携した取組（サテライト会場の設置、関連イベントの実施等）への支援を検討すること</p> <p>②兵庫県以西、四国等から万博会場へのアクセス強化                  ・兵庫県以西からのマイカー利用者のパーク&amp;ライドを円滑に実施するため、以下について、2025年国際博覧会協会とともに国においても検討すること                  ○陸上アクセス                  尼崎(フェニックス事業用地)と舞洲を結ぶ連絡橋の設置など、駐車場周辺道路の混雑緩和措置                  ○海上アクセス                  神戸(ポートアイランド等)、尼崎(フェニックス事業用地)、淡路島(国営明石海峡公園・淡路夢舞台、津名港)と会場を結ぶ海上アクセスルートの実現に向けた船着場の整備等</p> <p>③交通基盤の整備推進                  ア 関西圏域の空港のさらなる活用                  ・拡大する航空需要に対応する関西3空港をはじめ関西圏域に存在する空港の利活用を促進すること                  イ 名神湾岸連絡線の早期整備                  ・大阪湾バイエリアと名神高速道路を結び、バス・物流車両等の速達性や定時性を確保し、阪神高速3号神戸線等の渋滞緩和を図るとともに、関西3空港間のアクセス時間短縮に資する重要な路線である名神湾岸連絡線を早期に整備すること</p>

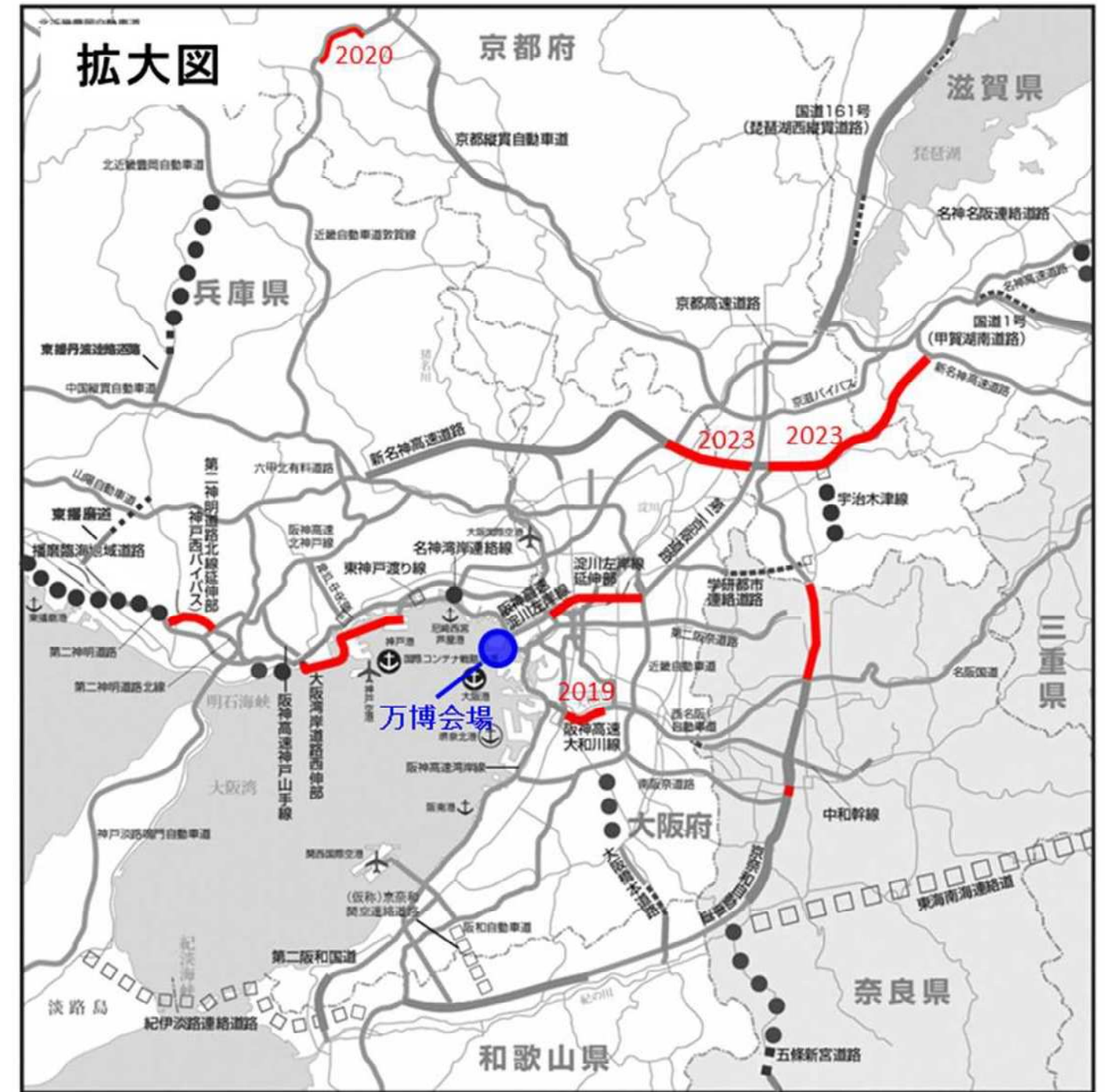
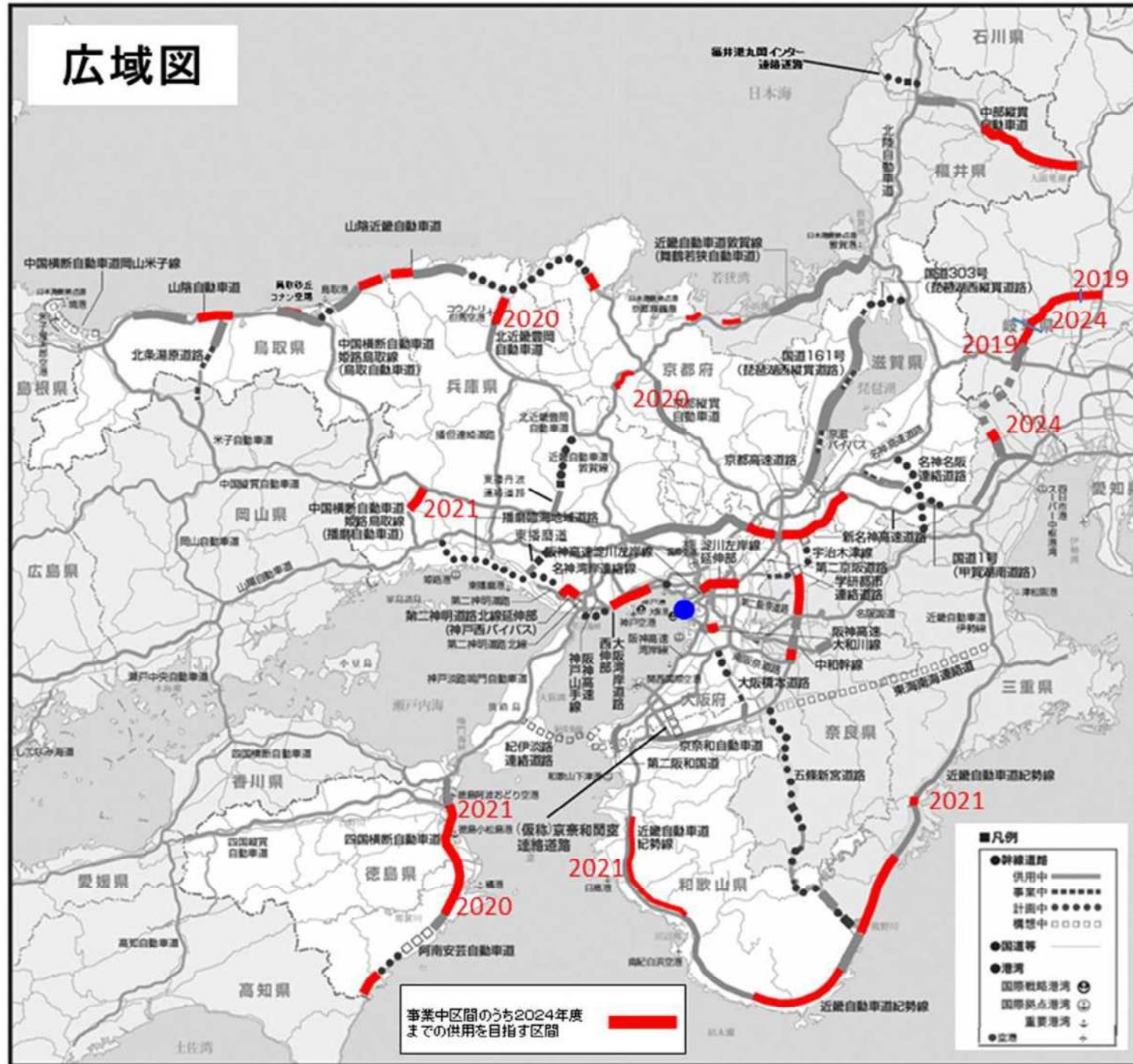




府県市等	提案・要望時期	提案・要望先	提案・要望内容
和歌山県	令和元年12月9日	国土交通大臣	<p>【大阪・関西万博までの高速道路の整備】</p> <p>※仁坂知事から赤羽国土交通大臣に対し、別添資料により、大阪・関西万博開催までの高速道路事業中区間の完成を要望</p>
徳島県	令和元年5月 (徳島発の政策提言～令和2年度政府予算編成に向けて～)	内閣官房 内閣府 経済産業省 国土交通省	<p>【「大阪・関西万博」を契機とした関西・日本の活力向上について】</p> <p>&lt;提言① 地方主体のパビリオン出展等への支援&gt; 国際博覧会推進本部が策定する「基本方針」に、地域の魅力を発信するための地方主体のパビリオン出展や地域のニーズに応じたサテライト会場の設置を盛り込むとともに、実施にかかる積極的な支援を行うこと。</p> <p>&lt;提言② 各地域の「万博オフィシャルイベント（仮称）」への財政支援&gt; 国内外から人を呼び込む各地域の「大阪・関西万博関連イベント」を、推進本部において、トータルコンセプトにより、「万博オフィシャルイベント（仮称）」に位置づけるとともに、実施にかかる財政支援を講じること。</p> <p>&lt;提言③ 大阪湾ベイエリアの陸海空の交通体系のレガシー創出&gt; 万博を契機として、大阪湾ベイエリア全域の陸海空の交通体系のレガシーを創出するため、国家戦略としてインフラ整備を促進すること。</p>
京都市	令和元年6月 (令和2年度国の施策・予算に関する提案・要望)	経済産業省	<p>【日本を元気にする文化芸術・スポーツ立国の実現】</p> <p>日本の文化力の更なる向上と世界への発信、健康長寿・生涯スポーツ社会の実現やスポーツツーリズムによる地域活性化の促進等を図るため、次のとおり求めます。</p> <p>&lt;提案・要望事項&gt;</p> <p>(1) 文化遺産の防災対策や保存・活用のための財政支援及び税制優遇の拡充 (2) 日本人の美意識・価値観を国内外にアピールする「日本博」の京都での幅広い展開 (3) 「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の国家的プロジェクトとしての位置付け及び財政支援 (4) 日本のマンガ文化の総合拠点「京都国際マンガミュージアム」の、「MANGAナショナル・センター（仮称）」としての位置付け (5) 2025年国際博覧会（大阪・関西万博）の成功に向けた活動の強化 (6) 「和装」、「華道」、「茶道」、「庭園文化」、「香道」、「書道」、「盆栽」等のユネスコ無形文化遺産への登録に向けた取組・支援 (7) 伝統芸能の活性化に向けた、伝統芸能に関する総合的な相談支援体制の充実や、関係団体とのネットワーク構築等の推進のための支援</p>
大阪市	令和元年6月 (令和2年度国の施策・予算に関する提案・要望)	経済産業省・ 国土交通省、 関係各省庁	<p>【2025年日本国際博覧会の成功に向けた取組みの推進】</p> <p>&lt;提案・要望&gt;</p> <p>○大阪・関西万博の開催に向けた国内の機運醸成や、海外における参加国招請活動の連携、協力、支援 ○関連するインフラ施設の整備（地下鉄の延伸や道路整備等の関連事業）に対する支援措置の実施</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>（国内の機運醸成・海外における参加国招請活動） ○大阪・関西万博の成功に向けて、国内の機運醸成、海外における参加国の招請活動について国との連携、協力、支援が必要である。</p> <p>（関連するインフラ施設の整備） ○会場となる夢洲への主要なアクセス手段となる地下鉄中央線の延伸（北港テクノポート線）や道路整備等の関連事業の推進が不可欠であり、とりわけ、地下鉄中央線の延伸は2020年度より本格的に工事着手する必要がある。インフラ整備を着実に推進するため、こうした事業に対する国の行財政上の支援が必要である。また、それ以外にも大阪・関西万博に寄与する淀川左岸線2期事業などの既存プロジェクトについても国の行財政上の支援が必要である。</p>



# 大阪・関西万博までの高速道路の整備について



【関西広域連合インフラマップ】

- 万博の効果を最大化させるには、万博会場や関西国際空港等の周辺地域を起点とした各地へのアクセスの効率化が急務
- そのため、万博開催までの5年間で高速道路の事業中区間の完成に向け取り組む必要がある
- それに必要な事業費は、2兆2千億円（内、国直轄事業費 約1兆2千億円）
  - ・ 2020年から2024年までの5年間で、国直轄事業費は、年平均 約2,400億円必要
  - ・ 2024年度までに供用を目指す事業中区間は、16路線38区間 延長 約370km

※和歌山県試算(精査中)

